2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　株式会社ギミック　　上場取引所　東
コード番号　475A　ＵＲＬ　https://www.gimic.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長 兼　社長執行役員　ＣＥＯ　（氏名）横嶋　大輔
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　ＣＦＯ エグゼクティブマネジャー　（氏名）臼井　啓太　ＴＥＬ　03（6277）5939

半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	1,936	3.2	118	△53.3	126	△50.3	109	△39.4
2026年３月期中間期	1,877	－	254	－	254	－	180	－

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	20.89	20.38
2026年３月期中間期	46.19	－

（注）１．2026年３月期中間期より中間財務諸表を作成しているため、2026年３月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。
２．当社は、2025年８月８日付で普通株式１株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。2026年３月期事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり中間純利益を算定しております。
３．2026年３月期中間期の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	3,214	2,531	78.7
2026年３月期	3,302	2,421	73.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　2,530百万円　2026年３月期　2,421百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は対前期比増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,120	7.2	300	△35.6	303	△30.4	232	△24.5	44.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	5,235,200株	2026年３月期	5,235,200株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	－株	2026年３月期	－株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	5,235,200株	2026年３月期中間期	3,910,000株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料Ｐ．３の「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、TDnetにて2026年11月13日（金）に開示し、同日付で当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 6
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当社は、「健康を願う人と守る人の『不』を『希望』に」をパーパスとして掲げ、患者及びその家族、ならびに医師をはじめとする医療従事者が、医療を取り巻く環境において感じる不安・不信・不便といった課題の解消に取り組んでおります。

当中間会計期間における医療業界を取り巻く環境は、少子高齢化の進展や社会環境・価値観の多様化を背景に、患者への情報発信の重要性が一層高まるとともに、医療機関においても従来の広告手法、院内業務、経営体制の見直しが進む状況となりました。また、厚生労働省が掲げる「キュア中心からケア中心へ」という医療提供体制の方向性を背景に、未病・予防を含むケアの重要性が高まっております。

また、医療業界においては患者に対する情報発信の重要性を再認識するだけでなく、これまでの広告手法や院内業務運用またはそれを支えるインフラ、人員体制やマネジメント等のクリニック経営そのものを見直す動きが加速しております。

このような環境のもと、当社は、医療情報サイト「ドクターズ・ファイル」及び医療情報マガジン「頼れるドクター」を中心としたマッチング領域において、注力エリアでの展開を継続し、堅調な売上拡大を実現してまいりました。2026年７月には、当社の理念や「ドクターズ・ファイル」の価値を訴求するブランドムービーを公開し、2026年10月末時点で566万回再生されております。「医師の思いが患者に伝わること」の大切さや、それによる医師と患者の信頼関係の重要性について、医療従事者・患者及びユーザーへの認知拡大に取り組んでおります。

また、2026年９月には医療情報マガジン「頼れるドクター」のメディアコンセプトを「先生とそだてる、わたしの安心」に刷新し、「安心」とは、医師と患者が対話を重ね、相互理解を深めるなかで育まれていくものであるという考えのもと、表紙デザインをリニューアルいたしました。なお同月「田園都市・横浜」、「田園都市・川崎・玉川」、「文京・豊島・練馬・板橋・北」、「千葉・北西」、「名古屋西・西尾張」、「京都」、「京阪」、ForArea「松江・出雲・米子」のエリアにおいて、合計８版の最新版を発行しております。

当社は、医師への直接取材を通じて、診療方針や医療に対する考え方、人柄などの定性的な情報を可視化し、単なる医療情報メディアにとどまらず、医療に関わる多様なステークホルダーを情報でつなぐプラットフォームの構築を推進しております。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高1,936百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益118百万円（同53.3%減）、経常利益126百万円（同50.3%減）、中間純利益109百万円（同39.4%減）となりました。

なお、当社は医療特化型プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　財政状態の分析

(資産)

当中間会計期間末における流動資産は2,851百万円となり、前事業年度末に比べ96百万円減少いたしました。これは主に売掛金が79百万円、現金及び預金が29百万円減少したことによるものであります。固定資産は363百万円となり、前事業年度末に比べ８百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が31百万円増加したこと、及び、ソフトウエアが21百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,214百万円となり、前事業年度末に比べ87百万円減少いたしました。

(負債)

当中間会計期間末における流動負債は618百万円となり、前事業年度末に比べ173百万円減少いたしました。これは主に未払金が76百万円、未払法人税等が54百万円、未払消費税等が50百万円減少したことによるものであります。固定負債は65百万円となり、前事業年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が23百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は683百万円となり、前事業年度末に比べ197百万円減少いたしました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は2,531百万円となり、前事業年度末に比べ109百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が109百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.7%（前事業年度末は73.3%）となりました。

② キャッシュ・フローの分析

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末から1,029百万円減少し、1,036百万円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は21百万円（前中間会計期間は157百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前中間純利益126百万円、売上債権の減少額71百万円、減価償却費35百万円、未払金の減少額76百万円、未払消費税等の減少額50百万円、法人税等の支払額87百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は1,012百万円（前中間会計期間は13百万円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,000百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は37百万円（前中間会計期間は72百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出37百万円によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2026年５月15日の「2026年３月期　決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年３月31日）	当中間会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,066,189	2,036,881
売掛金	835,958	756,646
契約資産	3,240	11,376
貯蔵品	5,231	5,064
前払費用	38,834	38,037
未収入金	1,927	2,469
その他	959	4,661
貸倒引当金	△4,474	△3,938
流動資産合計	2,947,866	2,851,199
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	50,639	46,340
工具、器具及び備品（純額）	22,790	22,498
リース資産（純額）	518	－
有形固定資産合計	73,948	68,838
無形固定資産		
ソフトウエア	85,557	64,195
ソフトウエア仮勘定	1,120	－
無形固定資産合計	86,678	64,195
投資その他の資産		
敷金及び保証金	125,807	130,356
繰延税金資産	68,171	100,168
その他	121	127
投資その他の資産合計	194,100	230,652
固定資産合計	354,727	363,686
資産合計	3,302,593	3,214,886

（単位：千円）

	前事業年度 （2026年３月31日）	当中間会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	59,561	51,543
１年内返済予定の長期借入金	61,147	47,804
未払金	168,006	91,017
未払費用	150,757	161,643
未払法人税等	118,780	64,024
未払消費税等	65,077	14,453
契約負債	37,693	41,626
役員賞与引当金	－	6,679
賞与引当金	117,542	125,707
リース債務	592	－
その他	12,617	14,030
流動負債合計	791,775	618,530
固定負債		
長期借入金	43,211	19,305
資産除去債務	45,898	45,993
固定負債合計	89,109	65,298
負債合計	880,885	683,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,030	801,030
資本剰余金	888,530	888,530
利益剰余金	732,023	841,372
株主資本合計	2,421,584	2,530,933
新株予約権	123	123
純資産合計	2,421,708	2,531,056
負債純資産合計	3,302,593	3,214,886

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,877,414	1,936,840
売上原価	337,995	371,167
売上総利益	1,539,418	1,565,672
販売費及び一般管理費	1,284,824	1,446,715
営業利益	254,594	118,957
営業外収益		
受取利息	545	6,809
受取保険金	420	210
業務受託料	1,000	600
違約金収入	300	370
その他	126	33
営業外収益合計	2,393	8,023
営業外費用		
支払利息	1,205	571
上場関連費用	1,500	－
解約違約金	－	110
その他	156	3
営業外費用合計	2,861	685
経常利益	254,125	126,295
税引前中間純利益	254,125	126,295
法人税、住民税及び事業税	77,245	48,943
法人税等調整額	△3,704	△31,996
法人税等合計	73,540	16,947
中間純利益	180,584	109,348

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	254,125	126,295
減価償却費	37,376	35,448
上場関連費用	1,500	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	3,041	14,844
貸倒引当金の増減額（△は減少）	488	△536
受取利息	△545	△6,809
支払利息	1,205	571
売上債権の増減額（△は増加）	2,599	71,175
棚卸資産の増減額（△は増加）	△607	166
仕入債務の増減額（△は減少）	△3,325	△8,017
未払金の増減額（△は減少）	△86,213	△76,815
未払費用の増減額（△は減少）	3,659	10,886
契約負債の増減額（△は減少）	2,087	3,932
未払消費税等の増減額（△は減少）	72	△50,624
未払法人税等（外形標準課税）の増減額（△は減少）	－	△16,229
その他	2,618	1,882
小計	218,082	106,171
利息の受取額	545	2,969
利息の支払額	△1,133	△558
法人税等の支払額	△60,009	△87,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,484	21,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,665	△6,890
無形固定資産の取得による支出	△4,404	△1,139
敷金及び保証金の差入による支出	－	△4,548
定期預金の預入による支出	－	△1,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,070	△1,012,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△68,884	△37,249
リース債務の返済による支出	△582	△592
上場関連費用の支出	△3,000	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,466	△37,841
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	71,948	△1,029,308
現金及び現金同等物の期首残高	444,849	2,066,189
現金及び現金同等物の中間期末残高	516,798	1,036,881

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。